



Hello! Bonjour! カナダの生活あるある EX 版

皆さんこんにちは！国際交流員のメリーです。広報ほっと京たなべ平成 30 年 9 月号のコラム「Hello! Bonjour! カナダの生活あるある」でバンクーバー空港の先住民の芸術作品について紹介しました。今回はそれに関連してバンクーバーの UBC 人類学博物館と先住民のダンス・フェスティバルについて紹介します。

私の出身校 University of British Columbia (略称: UBC) は先住民の歴史を大切にしている学校です。学校の敷地は元々先住民の土地でした。学校内には先住民をモチーフにしたものが多いです。例えば 1 年生の寮である、Totem Park ではトーテムポールが建っていたり、一つ一つの建物には先住民を元に名前が付けられています。Haida (ハイド), Salish (サリッシュ), Dene (ティネ), Shuswap (シュスワップ), Nootka (ヌートカ), Kwakiutl (クワキウトル), q' ə l ə x ə n (クアイラハム), h ə m' l ə s ə m' (ハムサム) です。最後の二つは Musqueam (マスキーム) 族の言語で書かれています。その中、一番有名なものは UBC 人類学博物館と先住民ダンス・フェスティバルです。

UBC 人類学博物館

バンクーバーを代表する博物館のひとつで、特に北米の北西海岸部に暮らした先住民の人々に関するコレクションは世界屈指です。

様々なエリアの部族から集めたトーテムポールやポットラッチ（伝統的な祭りの儀式）に使われた品々など、多くの興味深い作品に触れることができます。また、カナダだけではなく、世界の民族のコレクションのエリアも充実しています。



先住民ダンス・フェスティバル

アメリカ大陸の北西海岸に住む先住民のダンス・フェスティバルです。毎年 3 月上旬頃から 6 日間にわたり UBC 人類学博物館で開催されています。先住民の各部族の誇りが、ダンスを通して伝わってきます。普段見れない各部族のダンスを一度に見ることができます。私は大学生の時、一回見たことがありますが、とても迫力感があるパフォーマンスでした。

